

製品名: MCP-2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13733**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	15kDa

抗原情報

遺伝子名	CCL8
別名	CCL8; MCP2; SCYA10; SCYA8; C-C motif chemokine 8; HC14; Monocyte chemoattractant protein 2; Monocyte chemotactic protein 2; MCP-2; Small-inducible cytokine A8
遺伝子 ID	6355.0
SwissProt ID	P80075
免疫原	抗血清はヒト CCL8 の C 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 50-99

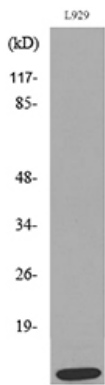
背景

この抗菌遺伝子は、17番染色体のQ腕にクラスター化した複数のケモカイン遺伝子の1つです。ケモカインは、免疫調節および炎症プロセスに関与する分泌タンパク質のスーパーファミリーを形成します。このスーパーファミリーは、成熟ペプチドのN末端システイン残基の配置に基づいて4つのサブファミリーに分類されます。このケモカインは、隣接する2つのシステイン残基を特徴とするCCサブファミリーのメンバーです。このサイトカインは、単球、リンパ球、好塩基球、および好酸球に対して走化性活性を示します。このサイトカインは、炎症部位に白血球をリクルートすることで、腫瘍関連白血球浸潤およびHIV感染に対する抗ウイルス状態に寄与していると考えられます。[RefSeq提供、2014年9月]、機能：単球、リンパ球、好塩基球、および好酸球を引き付ける走化性因子。腫瘍形成および炎症性宿主反応において役割を果たす可能性がある。このタンパク質はヘパリンに結合することができる。加工されたMCP-2(6-76)は単球走化性活性を示さないが、CCL7の走化性効果を最も阻害し、CCL2、CCL5、CCL8の走化性効果も阻害する。誘導：インターフェロン γ 、マイトジェン、およびインターロイキン-1による。オンライン情報：CCL8 エントリ,PTM：N末端加工型MCP-2(6-76)は、末梢血単球から分泌された後、タンパク質分解によって生成される。類似性：インタークリン β (ケモカインCC)ファミリーに属する。サブユニット：単量体またはホモ二量体。平衡状態にある。組織特異性：小腸および末梢血細胞で最も高い発現が認められる。心臓、胎盤、肺、骨格筋、胸腺、結腸、卵巣、脊髄、膵臓では中程度の濃度が認められます。脳、肝臓、脾臓、前立腺では低濃度が認められます。

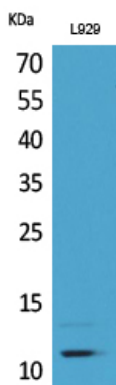
研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;ケモカイン;NOD様受容体;

画像データ



CCL8抗体を使用したL929細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



MCP-2ポリクローナル抗体を用いたL929細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は1:20000に希釈された。